

平成26年度策定 地域管理経営計画等(案)の概要

北海道森林管理局

1. 計画の体系及び森林計画区
2. 経常樹立計画の概要
3. 変更計画の概要

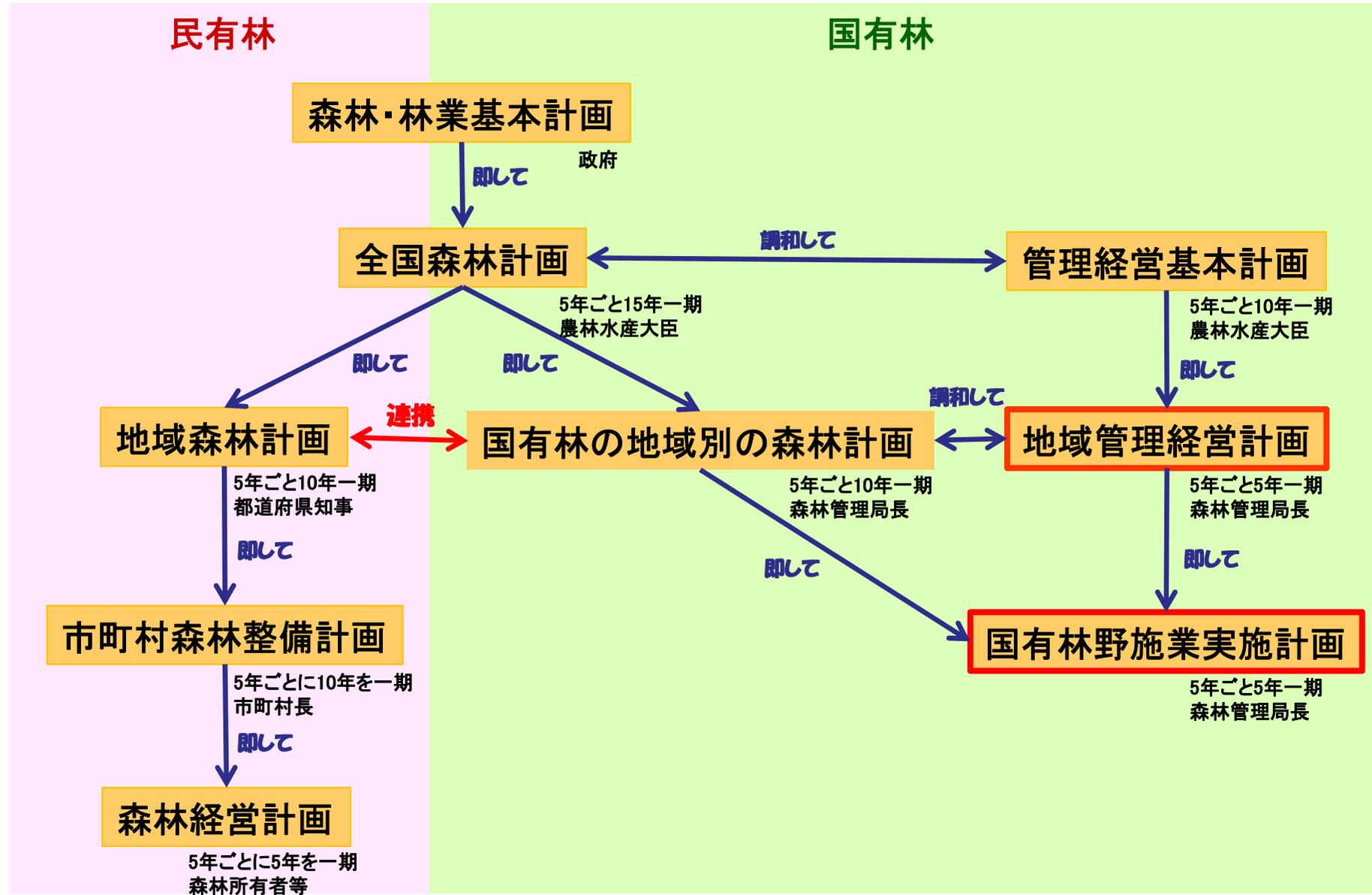
駒ヶ岳と大沼

1. 計画の体系及び森林計画区

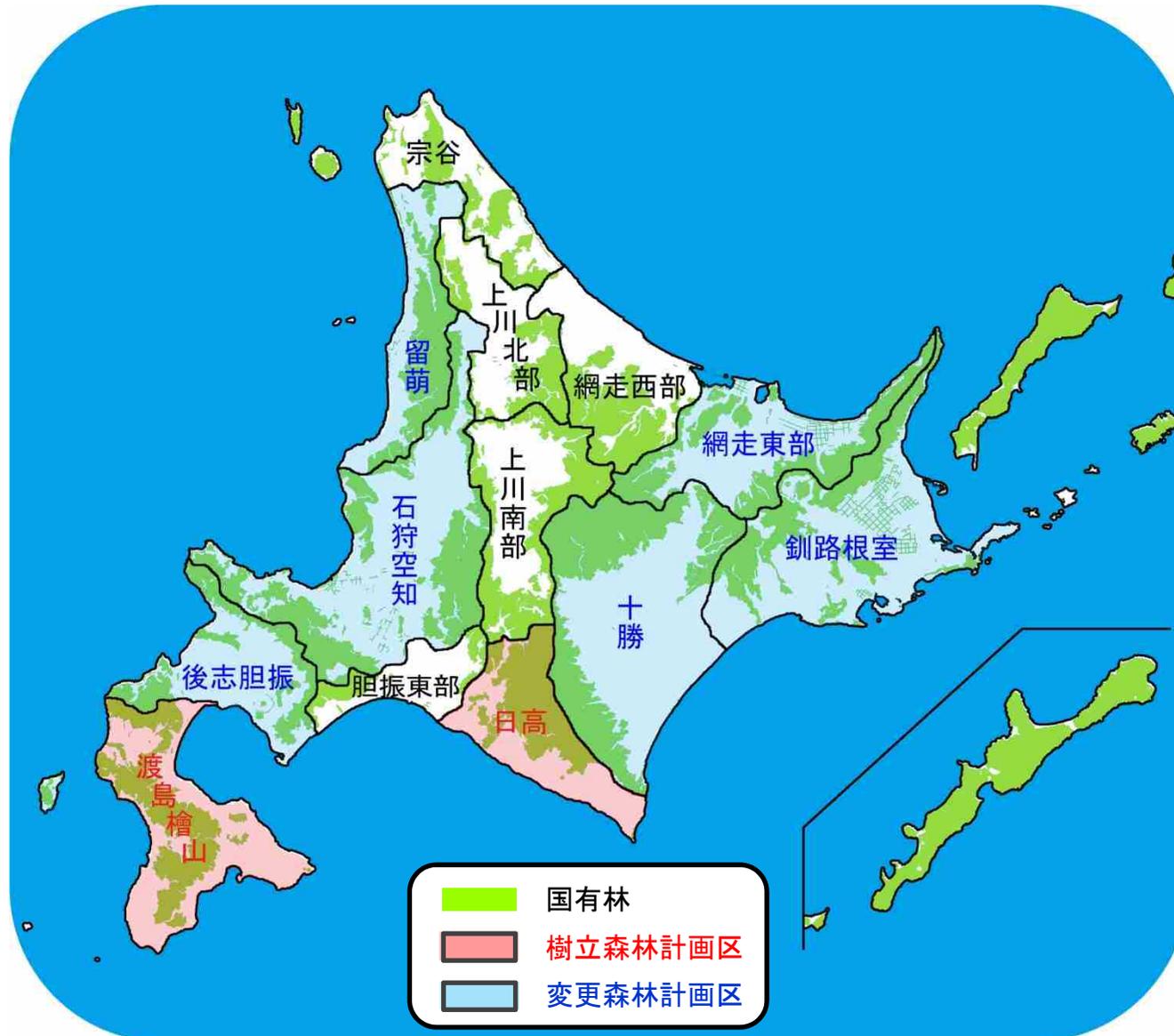
i) 計画の体系

ii) 森林計画区的位置

計画の体系



森林計画区的位置



計画樹立年度

| 樹立年度 | 計画区名 |
|------|----------------------|
| 26年度 | 日高 渡島檜山 |
| 27年度 | 胆振東部 宗谷 網走東部 |
| 28年度 | 留萌 釧路根室 |
| 29年度 | 上川北部 石狩空知 後志胆振 |
| 30年度 | 上川南部 網走西部 十勝 |

2. 経常樹立計画(案)の概要

- i) 各森林計画区の地勢、特徴
- ii) 各森林計画区の国有林野の現況

日高森林計画区の地勢、特徴

日高森林計画区の位置図



日高森林計画区の国有林の管理経営は、**日高北部森林管理署**及び**日高南部森林管理署**が行っています。本森林計画区の国有林野は、**日高町、平取町、新冠町、浦河町、えりも町及び新ひだか町の6町**に広がっています。

また、森林の**9割はトドマツ・エゾマツ・ミズナラ・カンバ類**等が混交する**天然林**で占められ、**1割がトドマツ・カラマツ**等の**人工林**です。

主たる産業は第一次産業であり、農業は、全国一の生産頭数を誇る軽種馬をはじめ、稲作、畑作、肉用牛の生産等が行われており、全道一を誇るトマトは、平取町を中心に栽培されています。

また、漁業は、167kmに及び海岸線を有し、親潮と黒潮のぶつかる好漁場に恵まれ、サケ定置網、沖合底引き網、スケトウダラ・カレイの刺し網、そして昆布に代表される採藻等が盛んで、**地域の水源として、また漁場の保全のためにも森林の有する水源涵養機能の発揮**が求められています。

観光は、日高山脈襟裳国定公園にある幌尻岳をはじめとして多くの登山者が訪れているほか、平野部に広がる牧場で優駿が草をはむ牧歌的風景が見られ、名馬観賞、ホーストレッキング、温泉などを目的に道内外から多くの観光客が訪れています。

日高森林計画区の国有林野の現況

(参考)

流域面積
481千ha

森林面積
402千ha
流域面積の84%

国有林野
234千ha
森林面積の58%

林種別面積

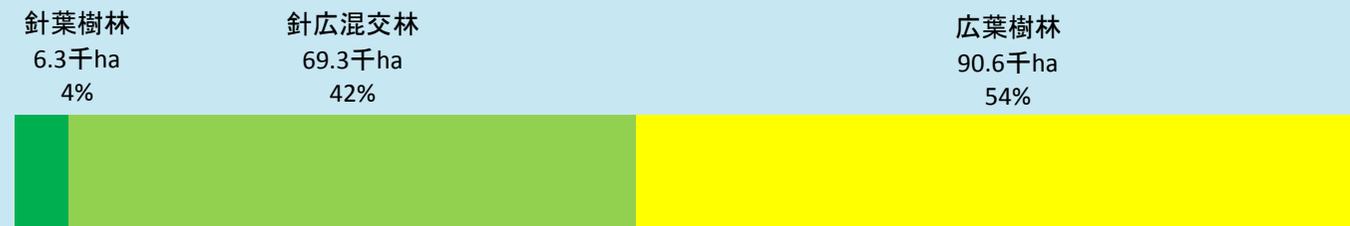


人工林の樹種別面積



※ エゾマツにはアカエゾマツ、カラマツにはグイマツをそれぞれ含む。以降同じ。

天然生林の 林相別面積



渡島檜山森林計画区の国有林の現況

(参考)

流域面積
657千ha

森林面積
530千ha
流域面積の81%

国有林野
258千ha
森林面積の49%

林種別面積

育成単層林
65.0千ha
27%

育成複層林
7.8千ha
3%

天然生林
170.5千ha
70%



人工林の樹種別面積

トドマツ
47.1千ha
72%

カラマツ
11.4千ha
17%

その他
4.3千ha
6%



天然生林の林相別面積

針葉樹林
0.6千ha
0%

針広混交林
7.6千ha
4%

広葉樹林
162.4千ha
95%



iii) 計画樹立の考え方

- ・計画樹立の基本的考え方
- ・機能類型別面積の割合
- ・保護林の面積
- ・レクリエーションの森の面積
- ・(参考)人工林齢級別面積等

iv) 新計画の主要計画量

- ・伐採計画
- ・更新計画
- ・保育計画
- ・林道開設計画
- ・治山事業計画

計画樹立の基本的考え方

公益重視の管理経営の一層の推進

水源涵養機能、山地災害の防止機能、生物多様性を保全する機能、レクリエーションや教育の場としての保健文化的機能など、森林の多面的な機能の維持増進を図るため、適切な管理経営を行います

森林・林業の再生に向けた貢献

民有林と連携した施業、林業の低コスト化に向けた技術開発等により民有林の経営支援に取り組むなど、森林・林業再生へ貢献、また、林産物の供給等を通じて、地域の川上～川下の関係者との連携を強化し、国産材の安定的・効率的な供給体制の構築へ貢献

国民の森林としての管理経営

開かれた「国民の森林」を実現するため、住民参加の森林づくりを進める一環として、地域の方々からの意見・要望を聴くための「地元意見交換会」を、平成25年10月に各森林計画区で行い、寄せられた国民の声を施策に反映させるよう努め、地域の特徴に応じたさまざまな取り組みを推進します

重視すべき機能に応じた管理経営の推進

森林に対する国民の要請は、山地災害の防止や水源の涵養に加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等、さらに多様化。

上記の要請や各森林計画の課題等を踏まえ、以下の3点を目標。

- ① 国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進
- ② 林産物の持続的かつ計画的な供給
- ③ 国有林野の活用によりその所在する地域の産業の振興または住民の福祉の向上に寄与

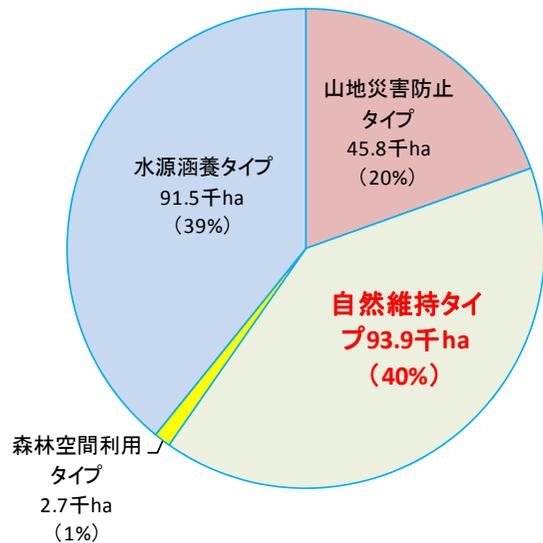
個々の国有林野を重点的に発揮させるべき機能によって、以下の5つの機能類型に区分。なお、各機能の発揮を図るために必要な施業により生じる木材については、有効に利用。

- I 土砂流出や気象害の防備等、災害に強い国土基盤の形成に係る機能を重視する
「**山地災害防止タイプ**」(「土砂流出・崩壊防備エリア」及び「気象害防備エリア」に細分)
- II 貴重な自然環境の保全や動植物の保護等に係る機能を重視する「**自然維持タイプ**」
- III 国民と自然とのふれあいの場としての利用に係る機能を重視する「**森林空間利用タイプ**」
- IV 騒音や粉塵等の低減・緩和などに係る機能を重視する「**快適環境形成タイプ**」
- V 良質な水の供給など水源の涵養に係る機能を重視する「**水源涵養タイプ**」

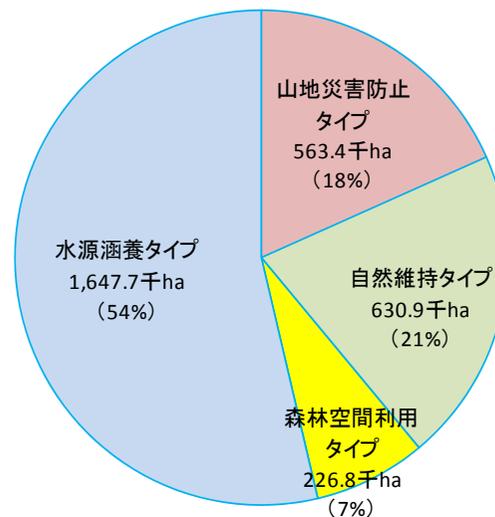
機能類型別面積の割合

日高森林計画区は、**日高山脈森林生態系保護地域等貴重な森林生態系が多いため**、自然維持タイプの割合が高くなっています。

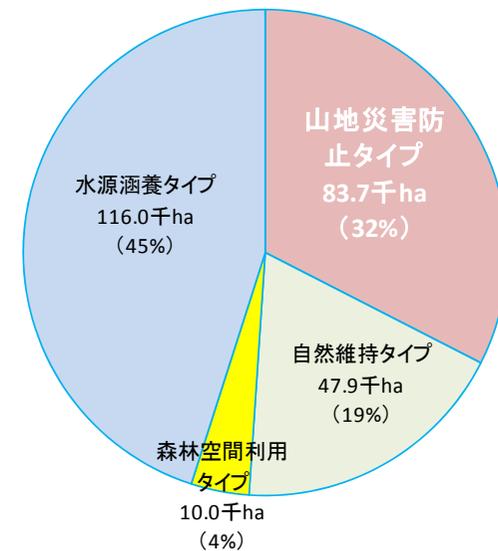
渡島檜山森林計画区は、**崩壊の恐れがある急峻な地形が多いため**、山地災害防止タイプの割合が高くなっています。



【日高森林計画区】



(参考)【全道】



【渡島檜山森林計画区】

保護林

保護林制度

原生的な自然の維持や動植物の保護等のため、豊かな生態系を有する森林を保護林として設定し保全する国有林野事業独自の森林保護制度



日高山脈森林生態系保護地域
(日高森林計画区)

| 種 類 | 日高森林計画区 | | 渡島檜山森林計画区 | |
|-------------|---------|--------|-----------|--------|
| | 箇所数 | 面積(ha) | 箇所数 | 面積(ha) |
| 森林生態系保護地域 | 1 | 74,189 | 1 | 2,723 |
| 森林生物遺伝資源保存林 | 1 | 15,361 | — | — |
| 林木遺伝資源保存林 | 7 | 61 | 5 | 78 |
| 植物群落保護林 | 2 | 53 | 11 | 4,328 |
| 特定動物生息地保護林 | — | — | — | — |
| 特定地理等保護林 | — | — | 1 | 5 |
| 郷土の森 | — | — | — | — |
| 計 | 11 | 89,664 | 18 | 7,143 |

(参考) 前計画における主な取り組みと実行結果

○保護林の再編・拡充

○第4次地域管理経営計画 (H22.4~H27.3)

(日高森林計画区)

- ・生物多様性の保全を図るとともに、優れた森林生態系を一体的かつ効率的に保全していくために、**日高山脈中央部森林生態系保護地域及び大雪・日高緑の回廊等の再編・拡充を検討。**

(渡島檜山森林計画区)

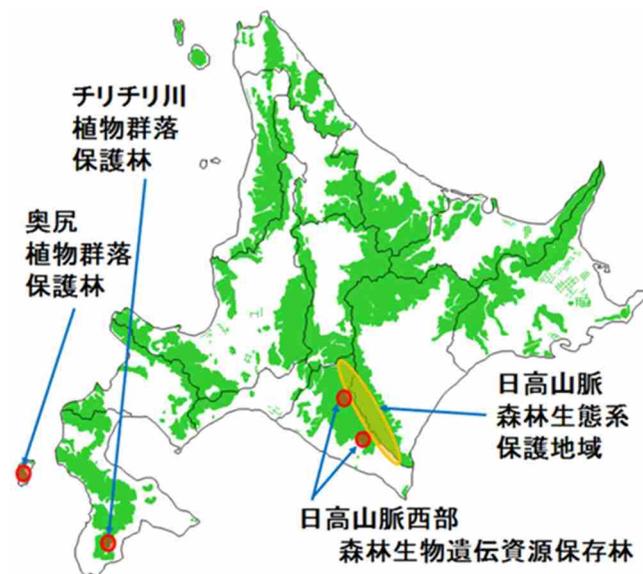
- ・**北限のブナを含む渡島半島及び奥尻島の国有林内のブナを主体とする保護林**について、より健全な交配や特徴的なブナの保護を図るため、周辺林分の現況等を勘案して**保護林の拡充を検討。**

(日高森林計画区)

- ・日高山脈森林生態系保護地域の拡充
(H23年度:3万5千ha→7万4千ha)
- ・日高山脈西部森林生物遺伝資源保存林の新設
(H25年度:1万5千ha)

(渡島檜山森林計画区)

- ・奥尻保護林の拡充 (H24年度:260ha→2,300ha)
- ・チリチリ川保護林の拡充 (H24年度:30ha→140ha)



レクリエーションの森

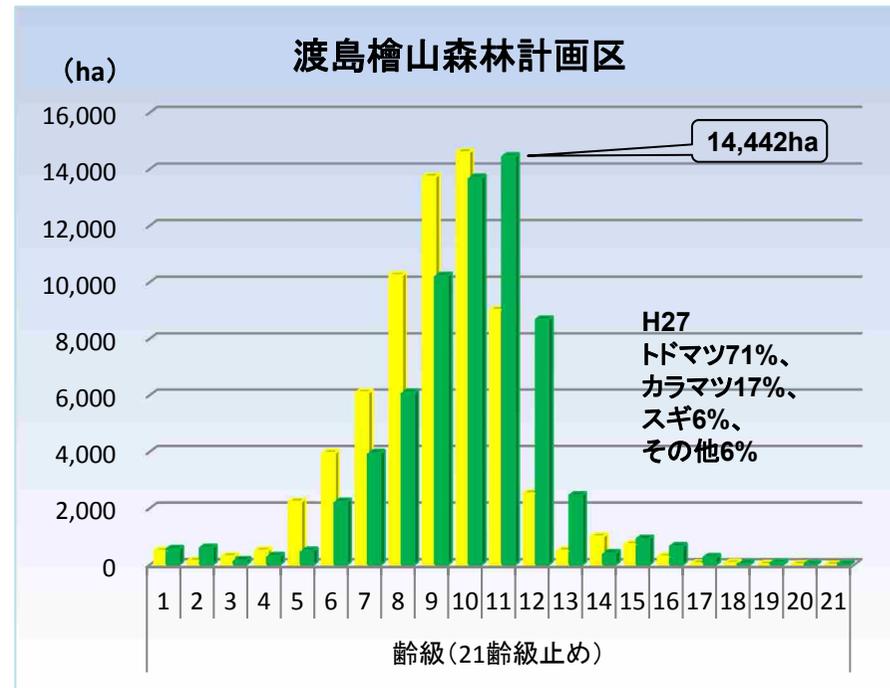
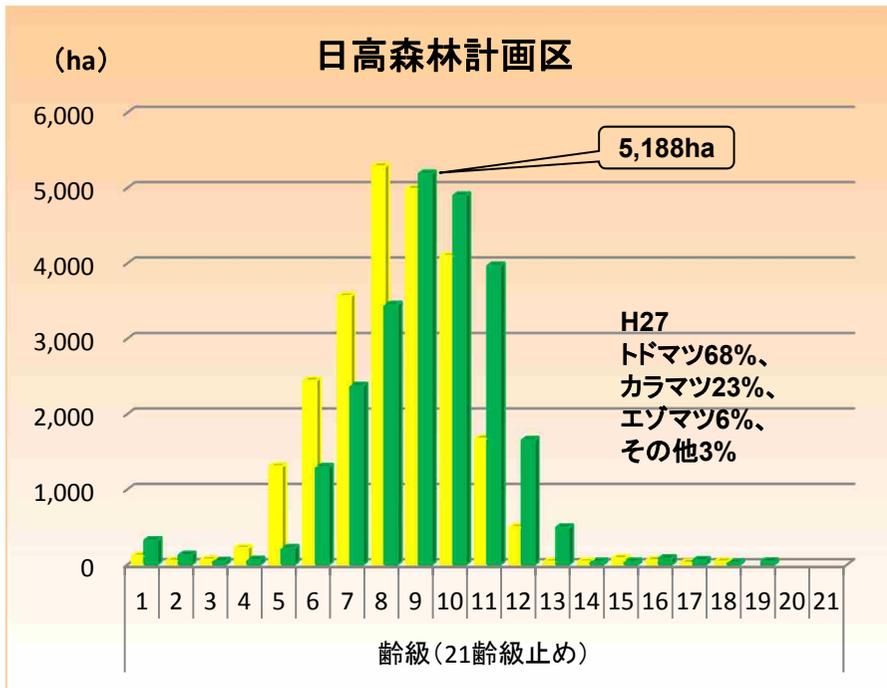


恵山自然休養林
(渡島檜山森林計画区)

人と森林とのふれあいの場として、国民の保健及び休養に広く利用されることを目的に指定しています

| 種 類 | 日高森林計画区 | | 渡島檜山森林計画区 | |
|----------|---------|--------|-----------|--------|
| | 箇所数 | 面積(ha) | 箇所数 | 面積(ha) |
| 自然休養林 | — | — | 4 | 2,823 |
| 自然観察教育林 | 2 | 1,147 | 1 | 160 |
| 風景林 | 6 | 1,012 | 8 | 5,232 |
| 森林スポーツ林 | — | — | — | — |
| 野外スポーツ地域 | 1 | 157 | 2 | 273 |
| 風致探勝林 | — | — | 3 | 753 |
| その他 | 5 | 0 | 1 | 3 |
| 計 | 14 | 2,315 | 19 | 9,244 |

(参考)人工林齢級別面積



標準的なトドマツの利用間伐は9齢級から、主伐については13齢級からが対象となり、年々対象林分が増加します。
一方、若齢林が非常に少ない状態であり、今後、持続可能な森林経営のできる森林資源の造成を目指します。

凡例: ■ 平成22年度期首 ■ 平成27年度期首

苗木を植栽した年を1年生とし、1~5年生をI 齢級、6~10年生をII 齢級と、数えます。

(参考)人工林の主伐、間伐、保育の標準的な時期等

主要な樹種の間伐の時期、間伐方法、間伐率及び、主伐の時期

| 樹種 | 間伐の時期 | | | 間伐方法 | 間伐率 | 単層林の主伐の時期 | |
|----------------|-----------------|------------------|------------------|---|------------|-----------|------|
| | 初回 | 2回 | 3回 | | | 通常 | 長伐期 |
| トドマツ | 7齢級 (31～35年) | 9齢級 (41～45年) | 11齢級 (51～55年) | 初回、2回目は原則列状間伐とし、3回目以降は列状、定性、定量、上層間伐のいずれか(併用も含む)を選択。 | 35%を上限とする。 | 65年 | 100年 |
| エゾマツ アカエゾマツ | 8齢級 (36～40年) | 11齢級 (51～55年) | 14齢級 (66～70年) | | | 80年 | 120年 |
| カラマツ グイマツ | 4齢級 (16～20年) | 6齢級 (26～30年) | 8齢級 (36～40年) | | | 50年 | 80年 |
| その他針葉樹 | 6齢級 (26～30年) | 8齢級 (36～40年) | 10齢級 (46～50年) | | | 60年 | 90年 |

主要な樹種の子育ての時期の目安

| 作業種別 | 樹種 | 保育作業の年次別計画 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|--------|------------|---|---|---|---|----|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 下刈 | トドマツ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | エゾマツ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | |
| | アカエゾマツ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| つる切 ・ 除伐 | カラマツ | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | グイマツ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | トドマツ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| つる切 ・ 除伐 | エゾマツ | | | | | | | | | ←○ | — | — | — | — | ○ | — | — | → |
| | アカエゾマツ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | カラマツ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| つる切 ・ 除伐 | グイマツ | | | | | | ←○ | — | — | ○ | — | — | — | — | — | — | — | → |
| | トドマツ | | | | | | | | | | | | | | | | | |

注1) 春植を基準としているので、秋植は植付年度の翌年を1年目と読み替える。

2) 下刈りの○は1回刈、◎は2回刈を示す。

トドマツ等の下刈で、8年目については必要な箇所に応用する。

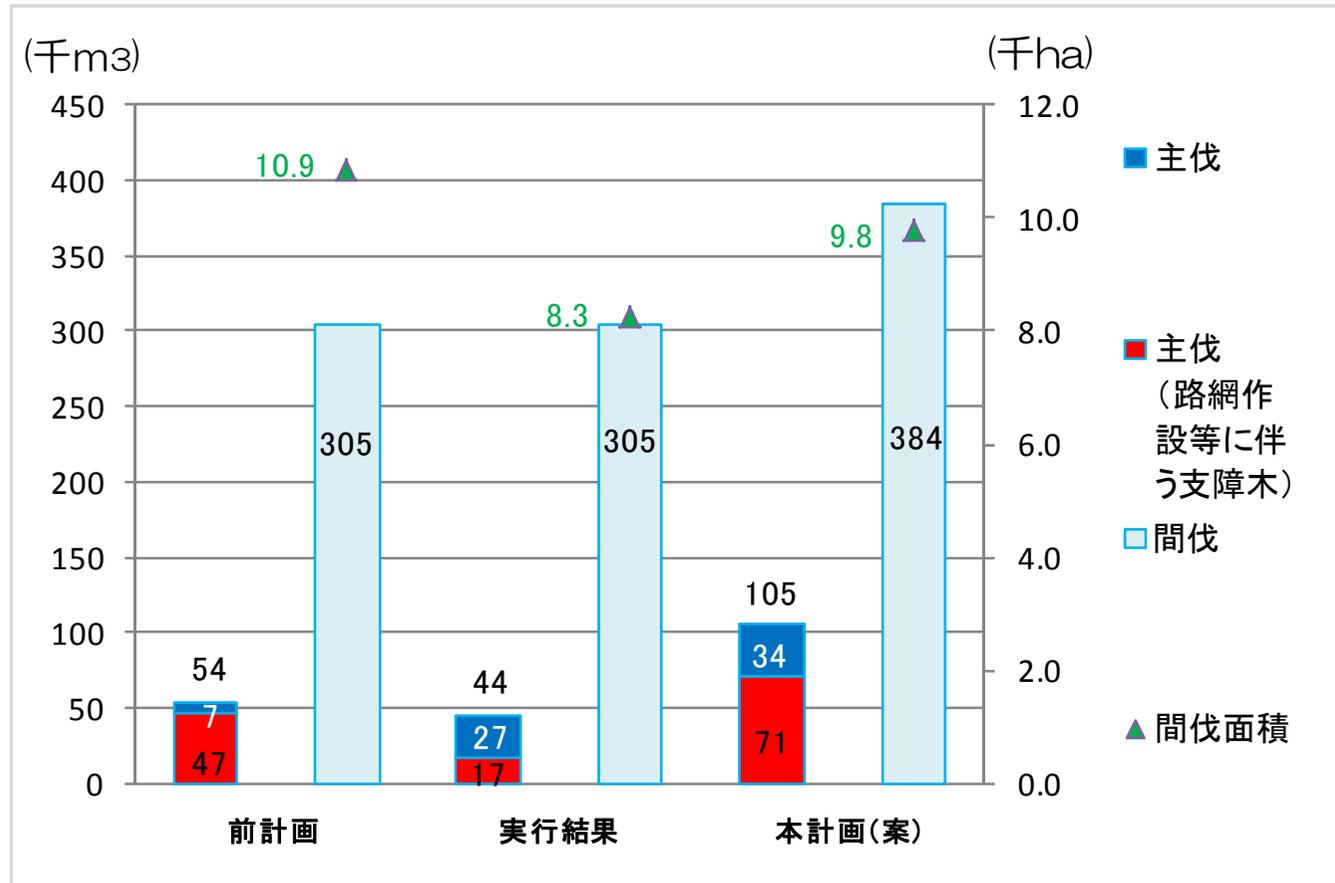
3) つる切、除伐の←○—○→は標準年次と範囲を示している。

伐採計画

～日高森林計画区～

※ 計画期間5年分の数値

新計画(案) トドマツ69%、カラマツ21%、エゾマツ4%、その他N1%、その他L5%



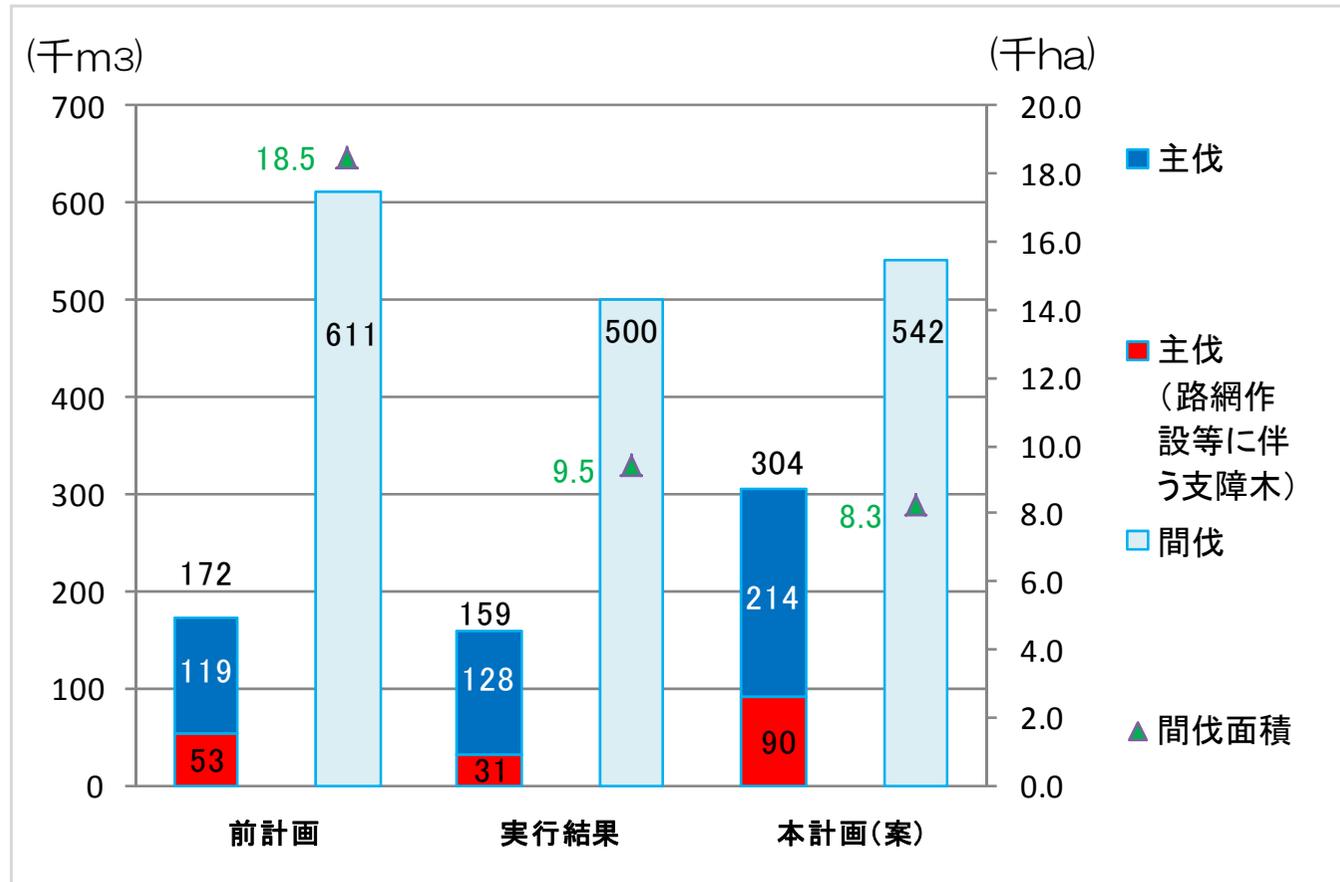
主伐については、**主伐林齢に達した林分が増加**し資源の充実を図る目的で複層伐を計画したこと及び、路網作設等に伴う支障木を多く見込んだことにより前計画と比較し増の計画、間伐についても対象林分を積み上げた結果前計画と比較し増の計画となっています。

伐採計画

～渡島檜山森林計画区～

※ 計画期間5年分の数値

新計画(案) トドマツ71%、カラマツ19%、エゾマツ1%、スギ7%、その他N1%、その他L1%

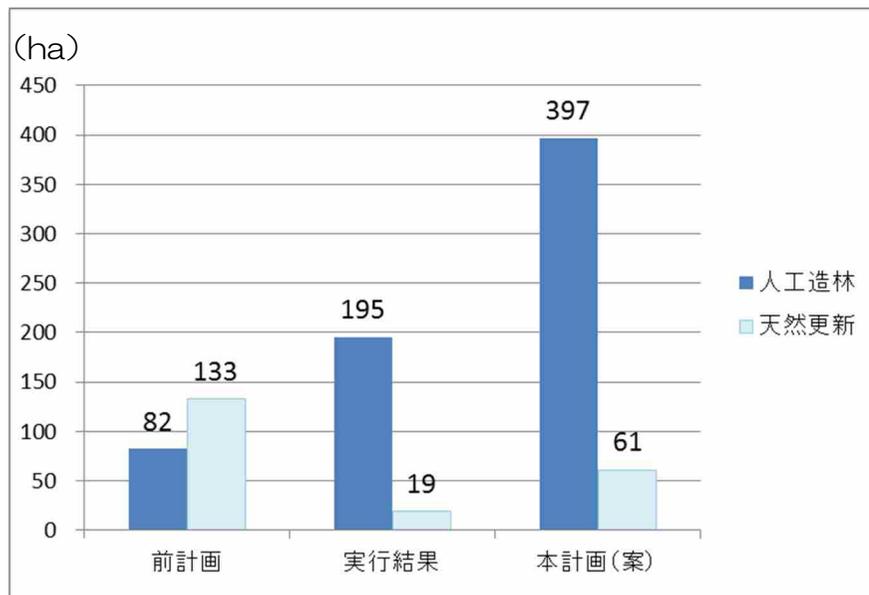


主伐については、**主伐林齢に達した林分が増加し**資源の充実を図る目的で複層伐を計画したこと及び、路網作設等に伴う支障木を多く見込んだことにより前計画と比較し増の計画、間伐については対象林分を積み上げた結果前計画と比較し減の計画となっています。

更新計画

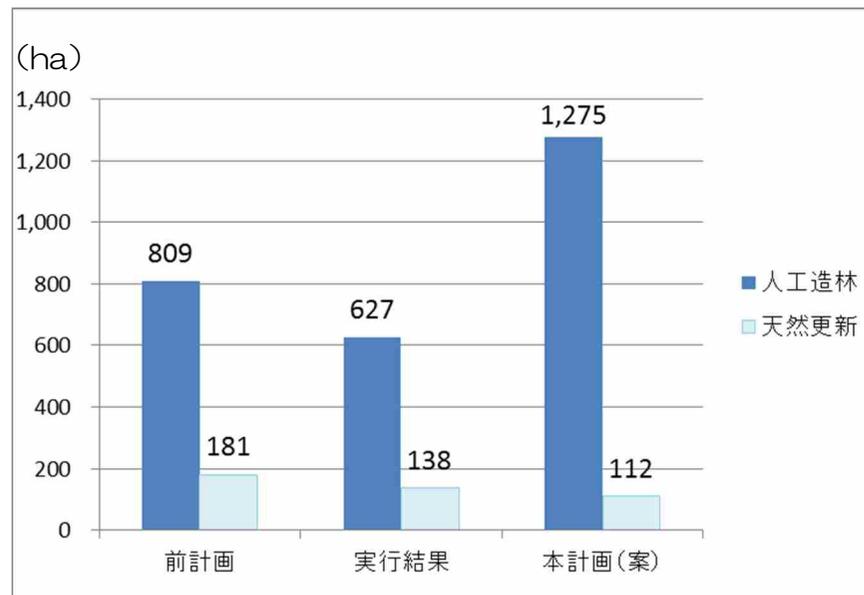
※ 計画期間5年分の数値

日高森林計画区



- 前計画に対する実行結果を見ると、台風被害箇所を精査した結果、当初見込んでいた面積よりも被害が大きかったことから、人工造林で増加、天然更新予定箇所の伐採を見送ったこと等により天然更新は減少。
- 本計画(案)では、人工造林については、主伐の増加に伴い増加、天然更新については、天然林主伐計画箇所の減等から減少で計画。

渡島檜山森林計画区

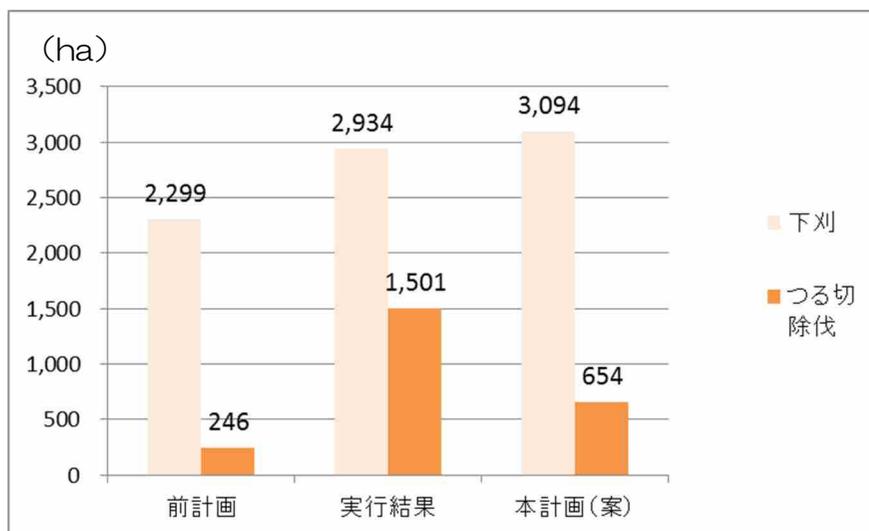


- 前計画に対する実行結果を見ると、主伐を計画したものの、次期計画に繰り越したことから、人工造林面積は減少、主伐量をほぼ確保できたことから、天然更新予定箇所の伐採を見送ったことにより天然更新も減少。
- 本計画(案)では、人工造林については、主伐の増加に伴い増加、天然更新については、人工林主伐後の天然更新計画箇所の減により減少で計画。

保育計画

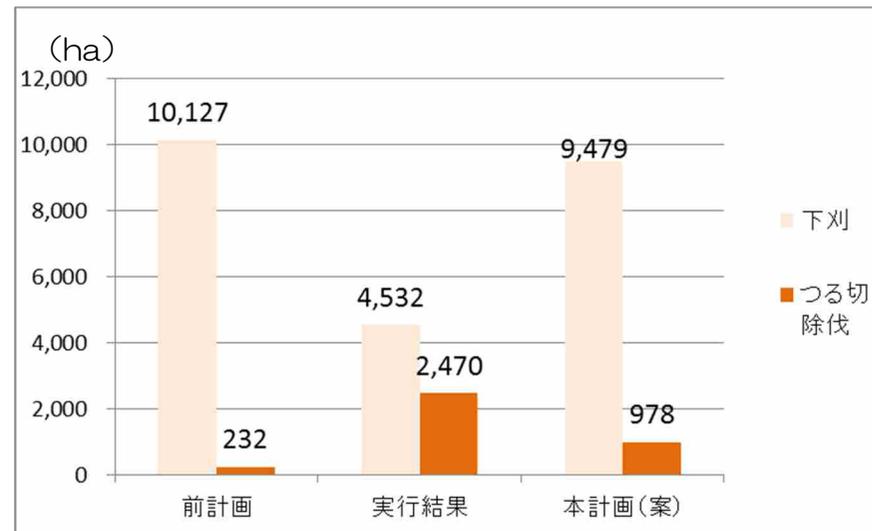
※計画期間5年分の数値

日高森林計画区



- 保育面積の前計画に対する実行結果を見ると、台風被害箇所の人工造林面積が増となったことから、下刈が増加、つる切・除伐は前計画の積み残しの箇所を実行したため大幅に増加。
- 本計画(案)では、主伐が増で計画されていることから、下刈が増加、つる切・除伐は適齢期の林分が前計画に比べ増加したことから増加で計画。

渡島檜山森林計画区

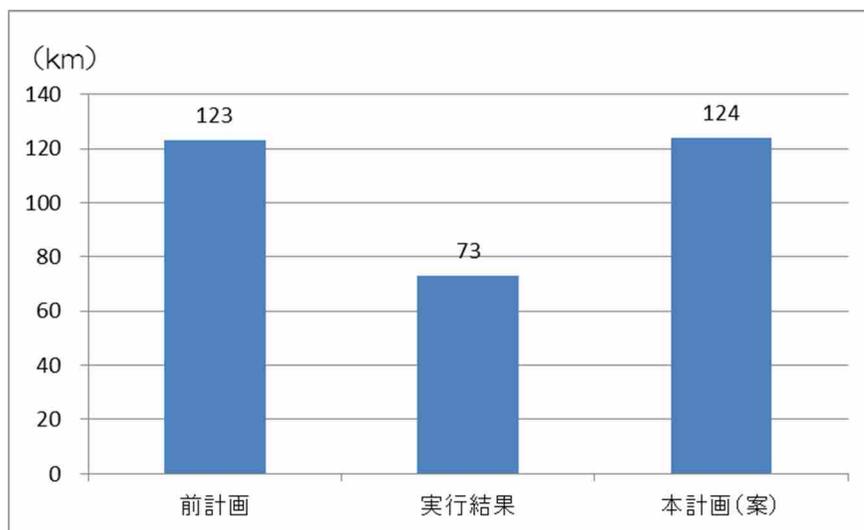


- 保育面積の前計画に対する実行結果を見ると、主伐を計画したものの、次期計画に繰り越したことから下刈が減少、つる切・除伐は前計画の積み残しの箇所を実行したため大幅に増加。
- 本計画(案)では、主伐が増加するものの、前計画において下刈終了の林分が多かったことから、下刈が減少、つる切・除伐は適齢期の林分が増加したことから増加で計画。

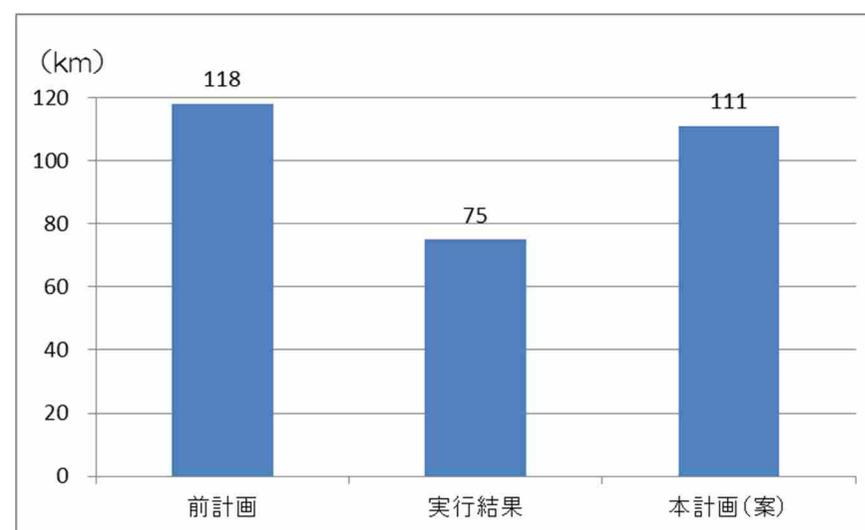
林道開設計画

※計画期間5年分の数値

日高森林計画区



渡島檜山森林計画区

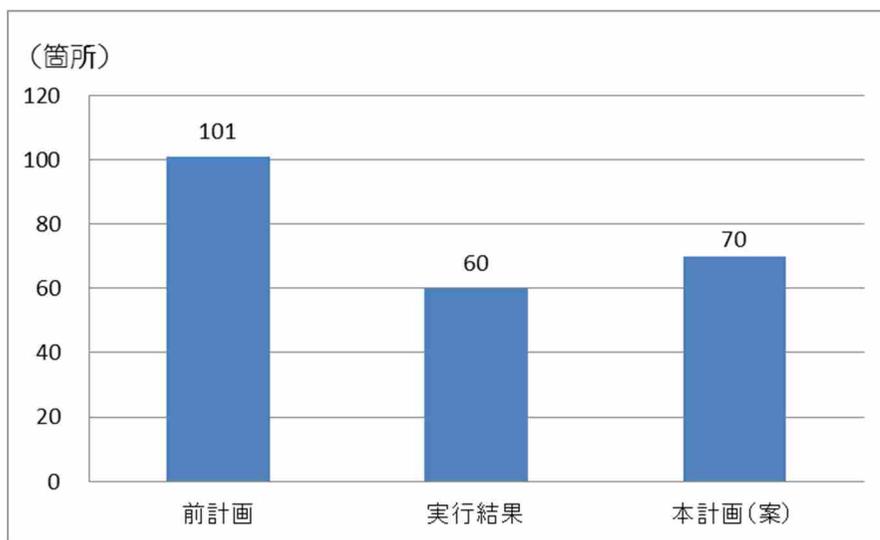


前計画においては、積極的な路網整備を計画しましたが、森林作業道の新設や、既設路網の活用等により、実行結果が**両計画区ともに減少**しており、そのような状況も踏まえ、また、**伐採予定箇所を考慮**して計画しています。

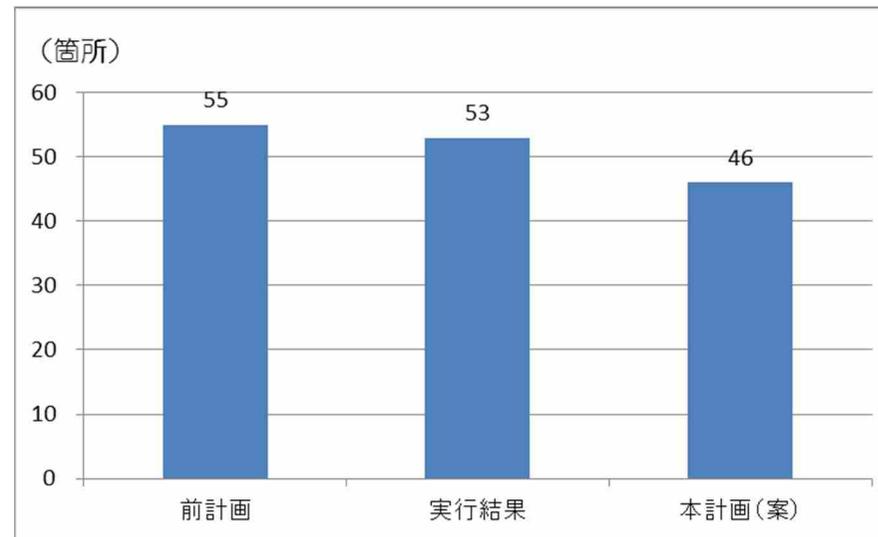
治山事業計画（保全施設（溪間工、山腹工））

※計画期間5年分の数値

日高森林計画区



渡島檜山森林計画区



保全対象に対する事業の必要性・緊急性等を考慮しつつ計画しています。

その他特徴的な事項

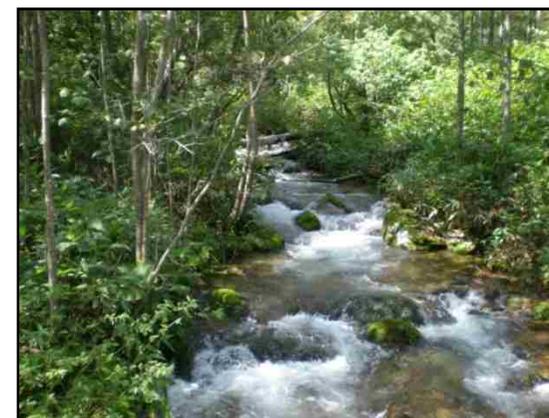
- ・ 公益的機能の高度発揮に向けた取り組み
- ・ 資源循環に向けた取り組み
- ・ その他の取り組み

公益的機能の高度発揮に向けた取り組み(溪畔周辺の取り扱い)

(両森林計画区共通)

溪畔周辺の保全の目的

溪流沿いや湖沼の周辺等の溪畔周辺は、源流部から中・下流域を経て海岸線までの連続的なネットワークを形成しており、**生物多様性の保全に大きく貢献**していることから、**魚類等野生生物の生息環境や水系への土砂流出の抑制等に留意した水辺域の森林保全**に関する取り扱い方法を定めることとし、渡島檜山森林計画区において**モデル溪畔林流域を設定**しました。



溪畔周辺の様子

溪畔周辺の取扱い方法

溪畔周辺を**水辺から概ね25m**(高木性樹木の平均樹高)の範囲とし、その範囲内で実施する**森林施業や路網整備**について、**魚類等野生生物の生息環境等に配慮して実施**することとしています。



現地検討会の模様

溪畔周辺における施業(模式図)



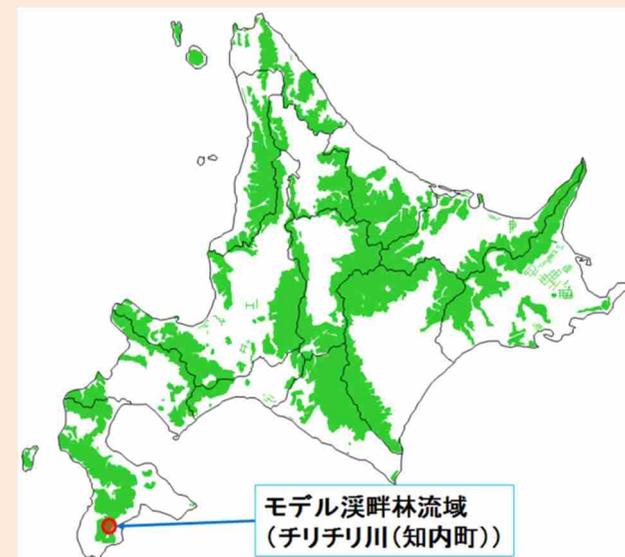
公益的機能の高度発揮に向けた取り組み

(渡島檜山森林計画区)

○モデル溪畔林流域の設定

チリチリ川流域をモデル溪畔林流域に設定し、間伐等の森林整備により針広混交林化、路網整備の際の配慮について検討するなど、職員の技術の研鑽や知見の蓄積の場としていきます。

さらに、事業実施後、モニタリング等の検証を行い、今後の森林施業等に反映していくこととしています。



資源循環に向けた取り組み（両森林計画区共通）

積極的な森林整備と木材の安定供給

低コスト・高効率な作業システムによる森林整備の推進



低コストで崩れにくい
森林作業道



コンテナ苗



高性能林業機械による
列状間伐

資源循環に向けた取り組み（両森林計画区共通）

積極的な森林整備と木材の安定供給

安定供給システム販売による需要・販路の確保・拡大

平成26年度 国有林材安定供給システム協定 例

| 森林管理署 | 物件内容 | 取り組みの概要 |
|-------|-----------------------------|--|
| 日高北部 | 針葉樹原料材、広葉樹原料材 | <ul style="list-style-type: none">・ 様々な樹材種の材を、販売協定先の各工場に選別・発送することにより、資源の有効利用・受入間口の拡大を図る。・ 原料材の有効活用と付加価値の向上を目指すとともに、トドマツをはじめとした北海道産材の販路の拡大に努める。・ 新たに建設される木質バイオマス発電施設等の燃料材を確保する。 |
| 檜山 | スギ原料材、カラマツ原料材、針葉樹原料材、広葉樹原料材 | <ul style="list-style-type: none">・ チップ生産時に発生するバーク(樹皮)やチップダスト等を、自社ボイラーのバイオマス燃料として活用するほか、敷藁等に加工し木材の付加価値の向上を図る。 |

安定供給システム販売： 地域における安定供給体制の整備や木材の新たな需要の拡大、加工・流通の合理化等に資する提案を受け、企画競争方式により国有林の木材(立木や丸太)を安定的・計画的に供給する販売方法です。

資源循環に向けた取り組み(バイオマスエネルギー向け資材の供給)

日高森林計画区

北海道内の3箇所において、**大規模なバイオマス発電施設が平成27年度から順次稼動する予定**であり、バイオマスエネルギー向けとして、木材資源活用の期待が大きいことから、**年間を通じた伐採搬出事業が可能となる規模の団地化、カンバ類等未利用資源の適切な供給**に努めます。



伐採作業現場（新ひだか町）

渡島檜山森林計画区

北海道内の3箇所において、**大規模なバイオマス発電施設が平成27年度から順次稼動する予定**であり、バイオマスエネルギー向けとして、木材資源活用の期待が大きいことから、**年間を通じた伐採搬出事業が可能となる規模の団地化、スギの初回間伐等未利用資源の適切な供給**に努めます。



スギ初回間伐林分
（熊石町）

森林環境教育・木育活動の推進（両森林計画区共通）

遊々の森

学校や地方公共団体等と協定を結び、
子供たちの体験学習や学習活動のフィールドとして国有林を提供

- ・ホロシリの森（日高森林計画区）
- ・しりうち新世紀の森 外（渡島檜山森林計画区）



ふれあいの森

緑づくりや環境保全に貢献したい方へボランティア活動の場として
国有林を提供

- ・希望の森 外（日高森林計画区）



木の文化を支える森

歴史的な木造建造物、特定の樹材種に依存している工芸品及び祭礼行事等の資
材を確保するための森林整備・保全活動の場として国有林を提供

- ・檜山古事の森（渡島檜山森林計画区）



地元自治体等との連携（日高森林計画区）

○北海道アイヌ協会との協定に基づく森林づくり

平取町、北海道アイヌ協会平取支部及び北海道森林管理局との間で締結した、「21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画～コタンコロカムイの森づくり」の協定に基づき、アイヌ文化の伝承に不可欠なオヒョウニシ等必要な資材の持続的供給、北海道本来の森林を再生するための調査研究などに取り組むよう努めます。



二風谷湖（平取町）



平取町

3. 変更計画の概要

変更計画のポイント

伐採計画の見直し

(網走東部、釧路根室、十勝、後志胆振森林計画区)

更新計画の見直し

(釧路根室、十勝森林計画区)

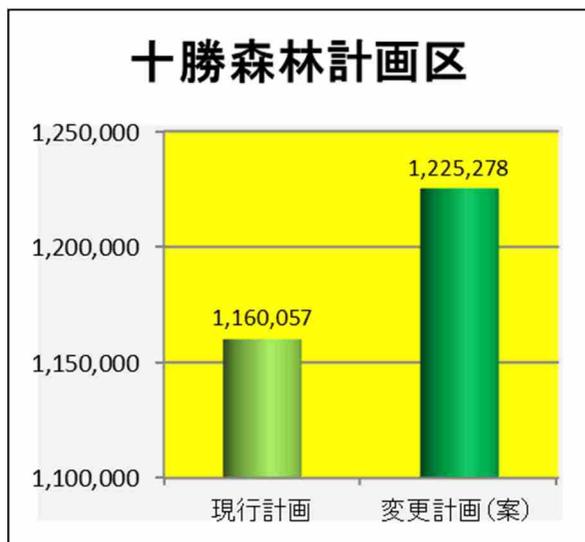
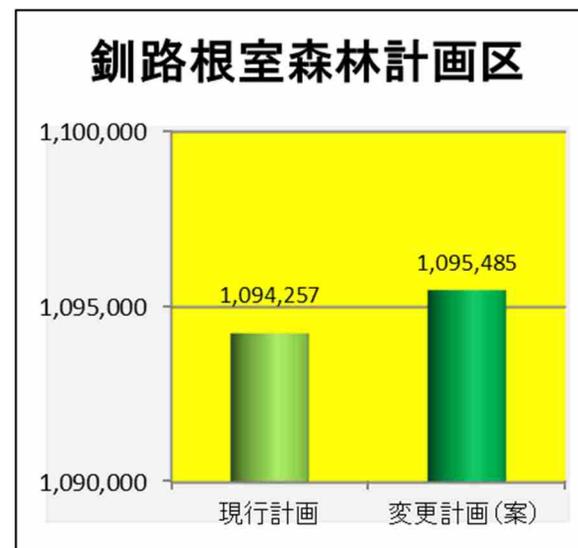
林道開設計画の見直し

(留萌、石狩空知森林計画区)

| 森林計画区 | 経常樹立 | 変更 | | |
|-------|------|------|------|--------|
| | | 伐採計画 | 更新計画 | 林道開設計画 |
| 日高 | ○ | | | |
| 渡島檜山 | ○ | | | |
| 留萌 | | | | ○ |
| 石狩空知 | | | | ○ |
| 網走東部 | | ○ | | |
| 釧路根室 | | ○ | ○ | |
| 十勝 | | ○ | ○ | |
| 後志胆振 | | ○ | | |

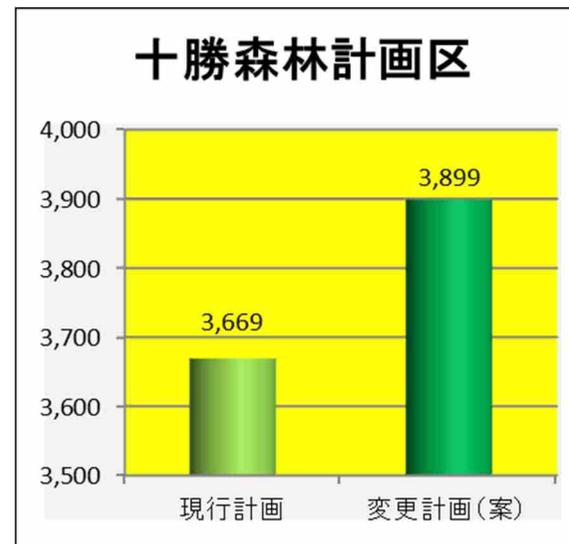
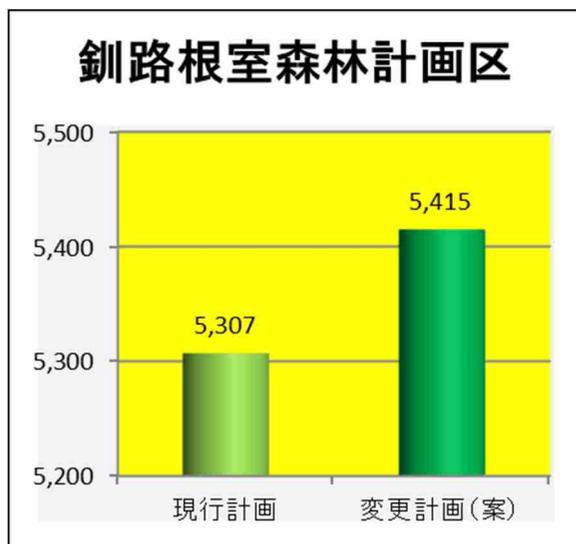
伐採計画の見直し(各変更森林計画区)

単位: m³



更新計画の見直し(各変更森林計画区)

単位: ha



林道開設計画の見直し(各変更森林計画区)

単位: km

